

5月定例記者会見

▽日時: 令和2年5月28日 午前11時から

▽会場: 稲敷市役所4階全員協議会室

▽参加記者(記者): 読売新聞、茨城新聞、朝日新聞

▽参加者(市): 市長、副市長、教育長、行政経営部長、危機管理監、市民生活部長、地域振興部長、教育部長、土木管理部長、行政経営部企画監、教育委員会企画監、総務課長、秘書政策課長、学務管理課長

■資料

別紙のとおり

■市長あいさつ

改めまして、皆さんこんにちは。お忙しいところ、お集まりいただき、ありがとうございます。記者の皆様には、日頃より、本市の市政情報の発信等にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日は、令和2年度最初の定例記者会見でございます。本市では、今年4月1日に組織・機構改革、そして人事異動を実施いたしまして、体制が一新しております。また、記者の皆さま方も人事異動等により、新たにご担当になられた記者の方もいらっしゃると思いますが、引き続きどうぞ宜しくお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症対策でございますが、茨城県では、25日より社会経済活動再開に向けた対策がステージ2に緩和されました。

また、全国に発令されていた緊急事態宣言も、同日に全て解除されるなど、感染拡大が抑えられている状況ではございますが、気を緩めることなく、第2波、第3波への備え、そして感染症と自然災害の複合災害リスクへの備えにつきましても、全庁を挙げて取り組んで参りたいと考えております。

そして、経済対策につきましては、先日、情報提供をさせていただきましたが、すぐにできることを最優先し、14事業、総額約4億円の本市経済対策を、今月21日の臨時会に上程し、議決をいただいたところでございます。

今後は、スピード感を持って事業に取り組むとともに、市内の経済状況等を、きめ細やかに見極めて、さらなる支援・対策につきましても、迅速に検討して参りたいと考えておるところでございます。

本日は、来月2日開会予定の、令和2年第2回稲敷市議会 定例会の提出議案等につきまして、ご説明をさせていただきます。

なお、稲敷市議会では、昨年度取り組んだ議会改革の一環で、議員定数の削減や費用弁償の廃止も行われておりますが、さらに、今般の新型コロナウイルス感染症対策の財源確保のため、議会活動費として予算計上されている研修経費のすべてを削減することとされました。

また、このことを受けまして、市執行部においても6月期期末手当を市長20%、副市長・教育長はそれぞれ10%削減することとする条例改正を先日専決処分させて頂いており、議会削減費用

250万円と併せて約300万円を新型コロナウイルス感染症対策に充当させて頂きたいと考えているところでございます。

各議案等の概要につきましては、このあと行政経営部長よりご説明させていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

■ 質疑応答

【学校の再開について】

Q: 学校の再開について、夏休みの対応予定は。

A: 授業は8月も実施していくことを考えている。また、夏季休業についてはお盆周辺の2週間程度を考えている。日程は通常登校実施を目途し(6月8日以降)早めに決定したい。また、現在のところ土曜日授業をやる予定はなく、平日の授業時間数を増やすことなども検討している段階。

Q: 学校再開時の感染防止対策は。

A:

- ① 各学校においては「一日の生活の仕方」についてのマニュアル作り及び指導(教員用。各学校で作成)
- ② 保健室においてはビニールを張り飛沫飛散防止対策を講じたり、発熱した子どもを別の部屋で休ませたりできる環境づくりに努めている。
- ③ 毎日子どもは自宅で体温を測り、忘れた子どもに対しては朝の健康観察を実施している。(一部の学校を除き、非接触型の体温計は未設置・配置予定)
- ④ 従来の教室でも1~2メートルの間隔であれば授業対応が可能な学校もあるが、現在各校で工夫し対策を検討している。また中学校など広い別教室がある場合ではそちらも活用し移動して対応している。換気も徹底。
- ⑤ 体育、音楽については指導計画を変えながら取り組むことを検討している。

Q: 教育長として、一番不安な課題は。

A: 児童生徒や教職の安全が第一であるとする。学校内で感染が起きた場合のことを危惧している。

【議案第58号損害賠償に関するあっせんの申し立てについて】

A: 平成23-24年分の申し立てが時効を迎える危惧があるためその対策。24年1月に設置した稲敷市地区6市町村放射能対策協議会に基づく。阿見町、美浦村で同様の対応をしたい旨を聞いている。

【特別定額給付金について】

Q: 稲敷市でトラブルはあるか。また、窓口での外国人対応として特別な対応をしているか。

A: 今のところはなし。オンライン申請開始時には窓口が若干混み合ったが、今は落ち着いている状況。外国人の方について言語の面でも特別な対応はしていない状況。多くがグループで来庁

し、日本語も問題がない人が対応してくれている。

【災害発生時のコロナ対策について】

Q:避難所などの見直しはしているか。

A:大勢を体育館に集めるのはかなり難しくなる。今後は学校の教室の活用も検討。体育館避難用にも4人用テントなどを購入・備蓄予定。また避難所だけでなく、自車で高台への避難する方のために、市内の工業団地やゴルフ場に協力を仰ぎ駐車場開放を検討している。